

会議録

会議の名称	令和2年度 第4回西東京市文化芸術振興推進委員会
開催日時	令和3年2月17日（水） 午後7時から午後8時
開催場所	田無分庁舎イング第3・4会議室
出席者	委員：（対面） 廣瀬委員長、田中副委員長、青木委員、濱崎委員、藤井委員 （オンライン） 葛西委員、島田委員、田邊委員、中野委員、中村委員 事務局：堀文化振興課長、文化振興課栗林課長補佐（兼文化振興係長）、文化振興課文化振興係山本主任、文化振興課文化振興係蓮見主事
議題	1 第3回西東京市文化芸術振興推進委員会議事録（案）について 2 「令和2年度施策・事業評価（令和元年度分）」調査結果に対する評価コメント（案）について 3 その他
会議資料の名称	【当日机上配布資料】 資料1 西東京市第2期文化芸術振興計画「令和2年度施策・事業評価（令和元年度分）」調査表
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>【以下、廣瀬委員長にて議事進行】</p> <p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言期間中であることから、オンラインによる参加も可能としたことを説明。 <p>2 【議題1】第3回西東京市文化芸術振興推進委員会議事録（案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局にて「第3回西東京市文化芸術振興推進委員会議事録（案）」を作成し提示。委員より異論がなかったため、正式な議事録として承認を得た。 <p>3 【議題2】「令和2年度施策・事業評価（令和元年度分）」調査結果に対する評価コメント（案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の委員会にて、各所管課へ確認することとしていた内容について、事務局より回答。 ・本日議論していただく「令和2年度施策・事業評価（令和元年度分）」調査結果に対する評価コメント（案）について、事務局より説明し、議論を行った。 	

○委員：

- ・調査表6 ページ【1-4-2】の評価コメント（案）について、西東京市はベットタウンであり、夜に駅を利用する方も多ことから、駅の改札前等を市や団体がPRできる場に使用できないかという意味の意見であった。そのため、駅を活用する情報発信の仕組み作りの一つの方法として、市が年間に実施するイベントの来場者数ランキング等を作成するという事ではない。

○事務局：

- ・評価コメント（案）のうち、「市が年間に実施するイベントの来場者ランキング等を作成して」という文言については削除する。

【以下、田中副委員長にて議事進行】

○委員：

- ・調査表のページの設定について、事務局にて設定した折り方で委員に示すのであれば、右下にページを付けた方が良いのではないかと。

○事務局：

- ・次回からそのように設定する。

○事務局：

- ・評価コメント（案）は、第1回から第3回までの委員会の議論を踏まえ、事務局にて委員よりいただいた意見等をまとめ直して作成し提示している。その内容について、委員より意見をいただきたい。

○委員：

- ・推進委員会として評価したコメントの取扱いはどうなるのか。

○事務局：

- ・今後、推進委員会よりいただいた評価コメントと、庁内検討委員会の評価コメントを記載したうえで所管課にフィードバックする。この評価を踏まえ、所管課では次年度以降の取り組みを考え、文化芸術振興の推進に向けて取り組むということとなる。委員には、評価していただいた内容が、次年度以降、どのように反映されているのか改めて評価していただきたい。

○委員：

- ・調査表1 ページ【共通事項】の2つの評価コメント（案）については、調査表の内容を評価する基礎となる事項であることから、徹底していただきたい。

○事務局：

- ・委員より毎年度同じような指摘が出ないように徹底する。また、事務局においても、同じ内容の記載がある箇所や評価理由が不明な箇所については確認し、内容を整えたいと委員に評価していただきたいと考える。

○副委員長：

- ・令和3年度以降、調査表を作成する際には、共通事項の評価コメントが反映されるようお願いしたい。

○委員長：

- ・調査表22ページ【5-2-1】都市計画課の今後の展開（課題・予定）について、「令和3

年度以降に調査を行う予定」と記載があるが、「以降」の表現だと曖昧であるため、「令和3年度頃」など時期を明示するようしていただきたい。この点について、評価コメント（案）にも記載していただきたい。

○事務局：

・この点については、評価コメント（案）に時期を明示するよう追記するのではなく、今後の予定を都市計画課へ確認をして、記載内容を明確にするほうが良いかと考えるがいかがだろうか。

○委員長：

・それで良い。

○委員：

・調査表19ページ【4-1-3】情報推進課の主な実績にある「スマートフォン用まち歩き・防災アプリ」について、所管課に確認した事項で、iOS、AndroidOSが搭載された機器であれば使用可能との回答が事務局よりあった。スマートフォンアプリであるとデータ量等を消費してしまうことから、フリーWi-Fiの整備を進めるとともに、PCでも見られるようにしていただきたい。

○事務局：

・一つ目の確認事項として、市内のフリーWi-Fiの整備状況の確認ということで良いか。

○委員：

・その通りである。まち歩きの要素があるアプリを提供しているのであれば、フリーWi-Fiの整備状況ついて把握したい。また、このアプリはまち歩きの要素があるものという認識で良いか。

○事務局：

・このアプリは、まち歩きという要素だけでなく、ごみの回収カレンダーが確認できる等様々な要素が含まれていると聞いている。また、二つ目の確認事項として、防災情報等についてのメールの受信がPCでもできるようにならないかの確認ということで良いか。

○委員：

・その通りである。

○事務局：

・担当課に確認後、第5回の委員会で回答する。

○委員：

・調査表15ページ基本方針3施策2の評価コメント（案）について、主な実績の内容を見る限り著名人の活用について記載がない。評価コメント（案）で著名人の活用について記載するのは、調査表の内容と合っていないのではないか。

○事務局：

・この評価コメント（案）については、基本方針3施策2全体に関する内容として記載している。地域にゆかりのあるアーティスト等の活用について、調査表16ページ【3-2-2】に具体的な内容が記載されているため、著名人の活用に関する評価コメントについても、同ページに記載した方が良いか。

○委員：

・著名人の活用が難しいことを想定して記載しているのであれば、調査表15ページの評価コメント（案）については不要ではないか。

- 事務局：
 - ・ご指摘のとおり、活用できないことを想定している事情を踏まえていることから、著名人の活用に関する評価コメント（案）を記載する必要はないかと考える。委員皆様の合意があれば、著名人の活用に関する評価コメント（案）については削除する。
- 副委員長：
 - ・調査表15ページに記載のある評価コメント（案）について、調査表16ページに記載の評価コメント（案）と内容に近い部分があること、また、著名人の活用ができないことを想定するような内容となっていることから、削除することで良いか。
- 委員：
 - ・異議なし。
- 副委員長：
 - ・調査表15ページに記載のある評価コメント（案）については削除する。

- 委員：
 - ・令和2年度調査表の評価をする際には、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、事業の実施状況についても大きく変わってくるのではないか。
- 副委員長：
 - ・新型コロナウイルス感染症により文化芸術活動にも大きく影響が出ていることから、委員としても令和2年度調査表を評価する際にはその点に注意して行う必要があるのではないか。

- 委員：
 - ・調査表4ページの基本方針1施策3の評価コメント（案）について、評価した点と今後に期待する点について、前後の内容に相違があるのではないか。現状として、講座やワークショップ等を実施し、文化芸術活動の発表ができる場を設けていることから、評価コメント（案）の整理をしていただきたい。
- 事務局：
 - ・評価コメント（案）の内容を整理する。

- 委員：
 - ・調査表16ページ【3-2-2】の評価コメントについて、地域にゆかりのあるアーティストのリスト化は実現可能なのか。
- 副委員長：
 - ・保谷こもれびホールにおいて、令和2年度、活動自体が難しくなっている地域のアーティストや市民の文化団体の取り組みのPRができるように、ホームページに情報を掲載できるような仕組みを考えている。また、今後は、地域にゆかりのあるアーティストについて、保谷こもれびホールのホームページで紹介できるような仕組み作りを行うことで、舞台関係者等がそこでアーティストを知り、舞台への出演を依頼するといった繋ぎ方ができるような取り組みについても検討していく。
- 委員：
 - ・舞台に出るようなアーティストだけでなく、絵画等の芸術分野で活躍している方についても紹介していただきたい。
- 委員：
 - ・図書館では、「縁（ゆかり）」という冊子が平成28年より発行されており、多くの文

化人について掲載されている。ホームページでも確認することができる。そうした媒体も参考にして、活用していただきたい。

○委員：

- ・令和2年度は、多くの活動団体がやりたかった活動ができなかったことから、令和3年度こそは活発な活動ができるようになれば良い。

○委員：

- ・調査表14ページ【3-1-5】の評価コメント（案）について、専門的な知識を持ったスタッフとは誰のことなのか。また、「びじゅツアー」に参加した推進委員会の委員に対してのアドバイスなどではなく、市民ボランティアの方々に対して専門的なアドバイスをするという意味で良いか。

○事務局：

- ・お見込みの通りである。令和元年度、対話による美術鑑賞事業という取り組みの一環で実施した、「びじゅツアー」という事業に委員の方々に研修として参加をしていただいた。この事業で中心的な役割を担ったのは、市民ボランティア（アートミール）であるが、当日は時間的余裕がなく、事業の振返りや、美術館の専門的スタッフなどからのアドバイスをいただく時間が確保出来なかったことから、体系的に実施できるような仕組みを検討した方が良いとの意見を踏まえ、評価コメントとして掲載したものである。

4 【議題3】その他について

○事務局：

- ・委員よりいただいたご意見を踏まえ、評価コメント（案）については事務局にて修正し、次回の委員会にてお示しする。

5 閉会

以上